



けい
子宮頸がん・ヒブ・小児肺炎球菌
はいえんきゅうきん

予防接種が無料で 受けられます

国のワクチン接種緊急促進事業の決定を受け、羽幌町では、子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチンの接種費用を全額助成します。(予防接種が無料で受けられます)
なお、この3つの予防接種は、本人または保護者の希望で行う任意(法に定められていない)の予防接種となります。効果や副反応について十分に理解したうえで接種の判断をお願いします。

子宮頸がん予防ワクチン

子宮頸がんは、子宮の入口付近にできるがんで、日本では20～30歳代でかかる人が増えています。

このがんは、人パピローマウイルス(HPV)というウイルスの感染が原因で引き起こされる病気です。発がん性のHPVには15種類ほどのタイプがありますが、その中でも日本人に多く見つかっている16型、18型の2種類のHPVの感染を防ぐことができます。

主な副反応は、接種部位の痛み、腫れなどの局所反応があります。また、血管迷走神経反射として気を失ったりすることがあります。

[対象]

中学1年生～高校1年生に相当する女子

[接種回数] 3回

ヒブワクチン

乳幼児の細菌性髄膜炎(ヒブ髄膜炎)を起こす原因の半分以上を占めているのが「インフルエンザ菌b型」という細菌で、略して「ヒブ」と呼ばれています。細菌性髄膜炎は、5歳未満の乳幼児にかかりやすく、生後3カ月から2歳になるまでは特に注意が必要です。ヒブワクチンは、接種を受けた人のほぼ100%に抗体(免疫)ができ、高い予防効果が認められています。

主な副反応は、接種部位の痛みや腫れ、発熱。また、非常にまれですが、重い副反応としてじんましんや呼吸困難などのアナフィラキシーも報告されています。

[対象]

生後2カ月～5歳未満の子

[接種回数]

開始年齢により回数、間隔が異なります

小児肺炎球菌ワクチン

肺炎球菌は小児細菌感染症の主な原因菌であり、髄膜炎や菌血症、肺炎、中耳炎など重症な細菌感染を起こします。

肺炎球菌は90種類以上ありますが、このワクチンは小児細菌感染症の原因として多い7種類に対して、高い予防効果が得られます。

主な副反応は、接種部位の痛み、腫れなどの局所反応や発熱があります。また、非常にまれですが、重い副反応としてじんましんや呼吸困難などのアナフィラキシーも報告されています。



[対象]

生後2カ月～5歳未満の子

[接種回数]

開始年齢により回数、間隔が異なります

※助成対象期間は平成24年3月31日までです。接種方法や接種場所など詳しくは、対象者へ個別に郵送する説明書でご確認ください。

☎ 予防接種に関するお問い合わせ 福祉課保健係(すこやか健康センター内) ☎ 0164-62-6020